

# 平成30年度 八洲学園大学事業計画書

## 1. 施設の概要

学校名	所有区分	郵便番号	学校（会場）所在地	電話番号	FAX 番号
八洲学園大学	法人所有	220-0021	神奈川県横浜市西区桜木町 7-42	045-313-5454	045-324-6961
八洲学園大学	法人所有	160-0022	東京都新宿区新宿 2-12-12	-	-

## 2. 学生の概要

### (1) 設置課程・学科・収容定員・在籍者数一覧（平成30年3月1日時点）

設置学部	学科	入学定員 (人)	編入学定員 (人)	①収容定員 (人)	②正科生 在籍者数 (人)	③科目等 履修生数 (人)	④特修生数 (人)	収容率 (%) ②÷①×100
生涯学習学部	生涯学習学科	800	400	4,000	1,508	1,001	17	37.7

### (2) 平成30年度入学者数・卒業者数・退学者数・除籍者数予測一覧（平成30年度予算予測に基づき記入）

学生区分	入学者数 (人)	編入学者数 (人)	卒業者数 (学位授与数) (人)	リカレント修了/終了者数 (人)	退学者数 (人)	除籍者数 (人)	増加予測人数 (人)
正科生	44	310	38	136（リカレント修了者）	15	0	165
科目等履修生	244	—	—	147（終了者）	19	26	52
特修生	1	—	—	—	1	15	-15

※除籍は平成29年度まで実施なし、平成30年度～実施予定。

### 3. 教職員関係

#### (1) 平成30年度管理職の概要

職名	氏名	備考（新任・留任等）
学長	和田 公人	留任
事務局長	鈴木 淳	留任
事務局次長・総務課長	金児 貴弘	留任・再任
教務課長	佐藤 明由美	新任
学生支援センター長・入学支援相談センター長	林 正隆	留任

#### (2) 平成30年度教職員の概要（平成30年4月1日時点）

		合計（人）	平均年齢（歳）
教員	本務	18（学長を含む）	50.7
	非常勤	43	54.0
職員	本務	5	36.4
	兼務	8	50.3

### 4. 事業の概要

#### (1) 事業の概要

平成29年度に続き、ウェブを中心とした広報により学生定員の確保に取り組む。「平成25～34年度八洲学園大学中長期計画」に基づく各取り組みを推進する。また、平成30年度中に現在のeラーニング・システムから「SOBA LMS system」への全面移行を実施する。その他、平成30年3月より外部有識者を招いた「将来構想会議」を発足させており、今後の方向性等を検討していく。

<達成目標>（前年度比110%）

- ・入学者数730名（科目等履修生を含む）

- ・ 学生生徒等学納金収入 183,694,000 円
- ・ 補助活動事業により計 25,550,439 円（空き教室の貸出事業 12,342,495 円、公開講座 1,253,144 円、教員免許状更新講習 11,954,800 円）

(2) 主な事業の目的・計画及びその進捗状況（「平成 25～34 年度八洲学園大学中長期計画」に基づく）

①生涯を通して主体的に学びを発信し続ける意欲をもった人材の育成

年度	事項	概要	進捗状況
30	カリキュラム・ポリシーに基づいた体系的な教育課程の編成	カリキュラム・ポリシーを整備し体系的な教育課程を編成する。	平成 25 年度に専門科目の科目群を新設。「教養系」を新設。 平成 27 年度にカリキュラム・ポリシー策定。 平成 28 年度に専門科目の「教養系」を「人間力創造系」に変更。科目群を新設。 平成 29 年度にカリキュラム・ポリシー改定。基礎科目の分類を廃止。 平成 29 年度～シラバス見直しを開始。 平成 30 年度に資格科目を廃止（専門科目に変更）。 平成 30 年度～カリキュラムマップ等を検討予定。
30	ディプロマ・ポリシーに基づいた評価指標の明確化	ディプロマ・ポリシーを整備し評価指標を明確化する。	平成 27 年度にディプロマ・ポリシー策定。 平成 29 年度にディプロマ・ポリシー改定。 平成 30 年度に資格科目を廃止。 平成 30 年度～成績評価基準（GPA 制度等）導入を検討予定。
30	多様な学習支援	e ラーニング・システムを活かした支援や学生支援センターによるきめ細やかな支援を実施する。	平成 25 年度に「学生支援センター説明・交流会」開始。 e ラーニング・システムの仕様改善により支援の自動化を推進。

②学生が意欲をもつ学びの場の構築

年度	事項	概要	進捗状況
30	アドミッション・ポリシーに基づいた学生の受入れ	アドミッション・ポリシーを整備し適切に学生を受け入れる。	平成 25 年度に西九州大学、東京未来大学と協定を結び司書教諭科目の履修生受入れを開始。 平成 26 年度に丸善株式会社と協定を結び司書科目の履修生受入れを開始。 平成 27 年度に株式会社ヴィアックス、株式会社図書館流通センターと協定を結び司書科目の履修生受入れを開始。 平成 29 年度にアドミッション・ポリシーを改定。 平成 30 年度の募集要項から他の 2 つのポリシーも明記。
30	学生の視点を育成に反映させる取り組み	学生の要望を科目の新設や教授法の開発に反映させる。	平成 25 年度に学生アンケート開始、要望等への対応状況をサイト上に公開。 平成 27 年度に科目評価アンケート開始。
30	学生の成長を促す取り組み	科目の充実等により学生の成長を促す。	平成 27 年度に「初年次セミナー」ほか新設。 平成 29 年度に「レポートの書き方入門」ほか新設。 平成 30 年度に「学校図書館専門職養成プログラム」新設。

③時代の要請に応えた e ラーニングスタイルの提供

年度	事項	概要	進捗状況
30	e ラーニング・システムの機能を生かした教授法の開発	学生や教職員の意見等を反映し e ラーニング・システムの仕様改善を推進する。	平成 25 年度～e ラーニング・システム「eLY」の使用改善を推進。 平成 30 年度中に SOBA LMS system に全面移行予定。

30	FDの実施	FDを実施しeラーニングスタイルの教育の能力を高める。	平成25年度FD研修会「今後のeラーニング・システムの方向性について」等。 平成26年度FD研修会「テキスト履修科目課題レポートの添削指導について」等。 平成27年度FD研修会「著作権と教材について」等。 平成28年度FD研修「公開授業（授業参観）」等。 平成29年度FD研修会「通信制大学におけるレポートの剽窃」。
30	SDの実施	SDを実施しeラーニングスタイルの教育や学生支援の能力を高める。	平成29年度SD研修会「障害を持つ学生への対応」。

#### ④生涯学習社会の実現に向けての研究開発の推進

年度	事項	概要	進捗状況
30	カリキュラムの確認と再構築	生涯学習学社会の実現のために求められることを分析しカリキュラムを再構築する。	平成27年度にカリキュラム・ポリシー策定。 平成29年度にカリキュラム・ポリシー改定。
30	FDの実施	FDを実施し研究開発を推進する。	平成25年度FD研修会「4学期制導入に伴う課題と対応策について」等。 平成28年度「学長講演（「本学の建学の精神、教育の理念について）」等。
30	研究紀要の発行	八洲学園大学紀要を発行し公表する。	平成17年度～紀要を発行、サイト上に公開。

⑤グローバル化に対応した学習の提供

年度	事項	概要	進捗状況
30	多様なインターネット環境に対応した学習システムの構築	現行システムの弱点を補う新システムを開発する。	平成 27 年度に SOBA LMS system を公開講座に導入。 平成 28 年度に SOBA LMS system を教員免許状更新講習に導入。 平成 30 年度中に SOBA LMS system に全面移行予定。
30	公開講座の新設	グローバル化に対応した公開講座を新設する。	平成 30 年度～図書館における多文化サービスに関する講座の開設を検討予定。
30	科目群の整備	グローバル化に対応した科目群を整備する。	平成 30 年度～外国語教育の科目等を検討開始予定。

⑥キャリア形成や就職・転職支援の実施

年度	事項	概要	進捗状況
30	就職・転職支援の充実	キャリアコーディネート室による支援を行う。	平成 24 年度にキャリアコーディネート室を設置。 平成 29 年度より正科生に特化した支援を開始。
30	科目群の整備	キャリア教育科目を整備する。	平成 25 年度に専門科目「キャリア教育」(科目群)を新設。 平成 29 年度にキャリア教育担当の専任教員を採用。
30	公開講座の新設	キャリア形成に役立つ公開講座を新設する。	平成 26 年度に「開放授業」開始。 平成 27 年度～図書館司書向け講座の開設を推進。 平成 28 年度に株式会社キャリアパワーとの提携を開始。

⑦広く社会や地域に貢献

年度	事項	概要	進捗状況
30	神奈川県や横浜市との連携	神奈川県や横浜市主催イベント等に参加し地域に貢献する。	平成 25 年度に一般社団法人横浜みなとみらい 21 と連携を開始。 平成 25 年度「ヨコハマ大学まつり」講座開講。 平成 26 年度「ヨコハマ大学まつり」講座開講。 平成 29 年度「にしくらぶ」講座開講。
30	各地域での社会貢献	公開講座を e ラーニングで提供し社会に貢献する。	平成 25 年度より卒業生による公開講座を開講。 平成 27 年度より図書館司書向け講座を開設。 平成 28 年度より八洲学園大学国際高等学校との提携を開始。 平成 28 年度より株式会社キャリアパワーとの提携を開始。
30	大学施設・整備の開放	大学施設・整備を一般に開放し地域に貢献する。	平成 23 年度より空き教室の貸出事業開始。 平成 25 年度より附属図書館を一般開放。

(3) 施設・設備の整備計画

エレベータ戸開走行保護装置および地震時管制運転装置の設置を完了する。その他、横浜ビルの老朽化（築 30 年）に伴う修繕・調査（建物外壁調査）を行う。空調・照明設備は、補助金申請諸費用の捻出が難しいことから、平成 31 年度以降で計画する。「建物外壁調査」の結果と平成 30 年度入学者数に応じて、外壁工事費（一部）の補正を検討する。

(4) 授業料変更等

なし。

(5) 卒業者数、就業者数、学位授与数の見込み ※卒業者数、学位授与数は 2 (2) 参照。

学生区分	就業者数（在学時からの就業者も含む）（人）
正科生	771
科目等履修生	505

#### (6) 学生の就職、進学状況

平成 24 年度後半より「キャリアコーディネーター室」を設置し、就転職を希望する在学生・卒業生へ就転職セミナーの実施や、メールでの定期的な就職情報配信を行っている。平成 29 年度はキャリアコーディネーター室の支援により 22 名（科目等履修生を含む）の就転職が決定した（3 月 1 日時点）。大半が社会人学生であることから、既に就職している者も多く必ずしも卒業と同時に就転職を希望するとは限らないが、「キャリアコーディネーター室」の活動が広報に結びつき、入学促進にもつながっている。

#### (7) 教職員の採用・退職計画

年度	事項	概要
29	退職	専任教員（教授）1 名（3 月 31 日付） 非常勤講師 3 名（3 月 31 日付）
30	採用	非常勤講師 4 名（4 月 1 日付）
30	昇任	専任教員（教授）1 名（4 月 1 日付） 専任教員（准教授）4 名（4 月 1 日付）

#### (8) 今後の課題

入学者数・履修者数ともに増加しているが、依然として定員充足率は 50%を下回っており（科目等履修生を含めると約 55%）、正科生（1 年次入学）及び正科生（学士取得編入学）の確保が課題である。平成 30 年度中に現在の e ラーニング・システムから「SOBA LMS system」への全面移行を実施する予定だが、e ラーニングスタイルの通信制大学の競争が激しくなりつつある状況を踏まえた対策が必要である。

### 5. 財務の概要

前回の認証評価で指摘を受けた財務状況の改善が引き続き最重要課題であり、当初予算を実現するため、収入と支出のバランスを注意深くチェックしながらコスト削減と各分野の収入増を同時に推進していく。また、築後 30 年になる八洲学園大学本館を維持するため、大規模修繕の計画およびその原資となる修繕積立金の計上も今後の課題である。